



年 組 名前

# 道新で ワークシート

## 卓上四季

「尾木ママ」の愛称で親しまれる教育評論家の尾木直樹さんが語っている。「いじりとは相手の個性や人間性の冒瀆（ぼうとく）である」（尾木ママの「脱いじめ」論）▼もとはお笑いの世界の言葉で、集団の中で冗談半分に相手をからかったりちゃかしたりし、その反応を笑うことを指す。最近是一般の人たちもよく使い、いじられることで人気を集める「いじられキャラ」という言葉もあるほどだ▼お笑い芸人は仕事として客を笑わせるため、合意の上で行う。だが、子どもたちの間ではいじる側にそんなつもりがなくても、いじられた側は深く傷つくこともある▼山口県で昨年7月に自殺した高2の男子生徒もそう。報道などによると、今月まとまったいじめ報告書では、普段からいじられ「とても恥ずかしい」と気にしていたそうだ▼いじめと変わらないのに「いじりだからいい」と思ってしまう背景として、尾木さんはお笑い番組の影響を指摘する。「いじりの場面を繰り返し観ているうちに見慣れて、感覚が麻痺し、『ああ、こういうことをやってもいいんだ』と思うようになっていきやすい」▼いじられキャラが笑っていても、楽しんでいるとは限らない。いじられるのを拒んで、自分の「居場所」がなくなれることを恐れているだけかもしれない。学校にもそんな友達はいないだろうか。もしかしたら、みんなのいじりに苦しんでいるかもしれない。

2017.11.18

2017年11月18日朝刊1面

①筆者の主張として、最も適当なものを次のア～エから一つ選びなさい。

- ア. 仲間との絆を深めるためにも「いじり」は有効だ。
- イ. テレビを参考にして正しく「いじり」をした方がよい。
- ウ. 相手を傷つけてしまう「いじり」はやめるべきだ。
- エ. 世の流れから考えて「いじり」があるのは仕方がない。

②「いじり」に対するあなたの考えを次の条件に従って書きなさい。

- ・記事の内容を踏まえて60字程度で書くこと。
- ・必ず記事の一節を引用し「 」で示して書くこと。